



「GIVE（渡す）と TAKE（得る）」

こんにちは、スタッフの諸事情で毎月書かせていただいている状態ではありますが（笑）、今回はほとんどの関係性は GIVE と TAKE で成り立っていると思うということを書いてみたいと思います。そしてそれはボランティアであっても、です。

この関係性において一番わかりやすいのはお金を介するものですよね。買うというものはお金を支払って（GIVE）物やサービスを買う（TAKE）するわけです。京都教育サポートセンターも特定非営利活動法人とはいえ、運営に必要なもの（家賃・水道光熱費・設備費・電気電話代・ネット接続・日用品・消耗品代など）、があるので利用料などの費用をいただいて（KSCE としての TAKE）、サービスを提供する（一般のサービスとは少し違うとは思っています。将来の本人のプラスになると思うことをする、ということになります。KSCE にとっての GIVE）ことを行っています。

では、お金を介さないものに関してはどうでしょうか。対人関係はこの要素が多いのではないかと思います。友人関係においては、おそらくお互いが求めている（TAKE）したいものを意識的か無意識的かはわからないけど出し合える（GIVE）の関係なのではないかなと思いますし、恋愛関係は特別な感情によってのお互い必要な GIVE と TAKE の関係性なのかもしれません。一緒にいると楽しい、なんていうのもお互いが出し合っている GIVE と TAKE の関係だと思えます。さらに、親子関係は程度の差があるにせよ親が見た目は一方的な GIVE をしている感じですが、それは物理的に子供から TAKE を受けることを求めているというより将来元気に大人になってくれるとか、その時その時の子どもの笑顔や動きに喜

んだり癒されたりが TAKE なのではないかと思えます。ちなみにですが、この GIVE と TAKE の思いが合わなければ（合わせる、でも構わないならそれでもいいと思います）人間関係はできないか離れるか、合えば長い付き合いになるということにもつながると思います。

そして、ボランティア活動ですが、これも活動内容によりませんがボランティア活動は GIVE の活動です。じゃあ何が TAKE かというと「ありがとう」と言われることと・ボランティアした相手が笑顔になる、元気になるとかを見ることでの気持ちの充足を得ることが TAKE なんだと思います。そうやってこないと逆にボランティア自体が続きにくいのかなとも思います。そして KSCE がボランティアで活動頂いただけのスタッフさんに対して、そういう GIVE & TAKE の環境づくりは今後もしていきたいと思っています。

最後に私自身、この分野で関わるようになって 19 年目になりましたが、活動で皆様に様々な形で GIVE していこうとして、私にとっては何が TAKE されると一番いいかは・・・やはり「みなさんが将来社会でなんとかやっていけるようになること」「少しでも進もう・何とかしたいという気持ちが見えること」なのかなと思います。専門の出でもない私が続けてこれたのは、そういう気持ちだけなのかもしれないと今更ながら思います。 （南山 勝宣）



カウンセラーの目

「次の一手・後の一手」

若い棋士が活躍したことで注目を集め、将棋にも注目が集まっている。テレビをつけっぱなしにしていると将棋の話題が流れてくることも多くなった。

そうすると、「次の一手」とか「何手先を読むか」というようなセリフが耳に入ってくることもある。

将棋の差し手についての知識が有る人は「盤面の駒の配置」から「次の一手」が見えてきたりするのだろうが、「これって、どういうルールなのだろう……とりあえず、この一番大きい駒を取られたほうがマケってことは聞いたことがある……」という程度で将棋のルールを知らない者には何も見えてこない。わけの分からないまま将棋の盤面を見ていると、これを繋いで升目を増やしたら将棋の世界はどうなるんだろう……などと、妙な方向へイメージが広がってしまう。

どんどんイメージを広げていくと、地球上を将棋盤で埋め尽くすイメージになっていって、その次に「あっ、隙間ができちゃう……埋められない……」なんて所まで行ってしまっ……さらに次の瞬間に「あっ、地球上全てを将棋盤で埋めなくても、正六面体で完結するじゃ無いか……」ということになって、盤面に関する興味はいったん終息する。(あらあら、駒をどう動かすかなんて、何にも考えないまま一人で納得してしまった……まあ、それぞれの駒がどう動くのかさえ知らないんだから、仕方がないんだけど……。)

おかげで、今の所、有名なプロ棋士が正六面体の将棋盤で対戦したら勝敗は決まるのか、決着はつくのかということに興味津々だったりする。

それは、それとして……将棋の盤面では「推理、論理、経験、直感」などを総合した対戦が行われ、「次の一手」や「何手先を読む」ということが行われるわけだが、たまに人生を将棋に喩えて「次の一手」「何手先を読む」というセリフが登場することがある。

将棋を知らないままの者としては、そのセリフを聞いて「そういう喩えに使えるものなんだ」と聞き流してきていたのだが、将棋盤は有限個数の升目の平面で、一定のルールを共有することで成立しているゲームで、その中では「次の一手」や「何手先を読む」が使用可能なのだが、これを人生と重ねると、人生側に「はみ出す部分」が多すぎるのでは無いかと思えてしまう。

そういう「はみ出す部分」の多い人生で「次の一手」や「何手先を読む」という対応は「喩えに使う」ほど有効なのだろうかという考えが浮かんできてしまった。

「現状を把握し、考察して、次の一手を決める」と文章にしてみると、「使えそう」な気がするのだが、「将棋の対戦世界」では「検討の範囲外」に置いて問題の無い「(相手の) 次の一手」が「はみ出す部分のある世界(この世界)」では「検討の範囲内」に入ってきてしまう。

その後の人生がどうなってしまうのかという問題があるのだが、「はみ出す部分のある世界」での「次の一手」の選択肢としては、「将棋盤を思いっきりひっくり返す」とか「盤面を覗き込んで前のめりになっている対戦相手の額に掌底打ちを入れる」なども「次の一手」に入ってくる。

プロ棋士で「相手が将棋盤をひっくり返す」可能性も含めて「次の一手」を検討するひとは、どのくらい居るのだろうか……。 (「ケントウする」から思

い出した……チェスとボクシング(拳闘)を交互に行って勝敗を決するというゲームは存在するらしいが、あくまで「交互に行う」というルールになっているようだ。)限定された状況なら「現状を把握し、考察して、次の一手を決める」ということができそうだが、「はみ出す部分のある世界」では「現状を構成する要素」が膨大になり「(より正確な)考察」のための情報が不足したり、逆に多すぎて絞り込めないことになるので、「次の一手」を確定することが難しくなってしまう。こういう状況では「次の一手」よりも「後の一手」がポイントになりそうに思える。「何らかの一手」を実行する場合、「現状から未来を予測した上で選択した一手」なら「次の一手」という表現になるのだが、「実行した結果に対する対処として選択した一手」なら「後の一手」と表現することになると思う。「現状から未来を予測」という視点の他に、「現状の事実を確認し修正」という対応の方法もある。実行した結果をフォローするという対応方法で、この視点なら「(不確定な)未来を予測」して「次の一手」を選択することは必要無いから、「現状の把握と考察」に時間をかけることを省略できそうに思える。「次の一手」では無く「後の一手(で、フォローする)」という考え方なので、「何らかの一手」を実行しやすいのでは無いかと思える。

まあ、これは「考えるより、やってみろ」というフレーズで言われてきたことと、基本は同じことなのだけれど、「考えるより、やってみろ」という場合には、「やってみること」が重視されていて、「考える必要など無い」というニュアンスで言われている場合もあったりする。

そうでは無く「考えることをいつするか」ということで、「考える必要など無い」というのではない。

「いつするか」と問われると、(思わず「今でしょ」と応じてしまいそうになるが)「後でしょ」ということになるのだ。

「次の一手」で無く「後の一手」の場合、「何らかの一手」を実行した後の状況を確認して、確定した事実に対する対処を考えるということになる。

例えば「接近すべきか、離れるべきか」ということで「次の一手」を考えると、さまざまな可能性が想像できるので、「次の一手」を確定するのに時間を要するし、「可能性」がずっと「可能性」のまま継続してしまう。

「ある程度の見通し」が手に入っていると良いのだが、「何か知らないけど、そんな気がする」という曖昧な印象でもそれに従って「一手」を実行すると、その瞬間に「可能性」が「事実」に切り替わる。

この「事実」に対し「近すぎた」と分かれば「後の一手」で「離れる」し、「遠すぎる」と分かれば「後の一手」で「接近する」……その先は、この作業の繰り返しということになる。

この方式だと、「(不確定なままの)可能性」を「確定され、確認された事実(の集積)」にすることができるのでは無いかと思える。

一回で正解をだすことにならなくても、この方式だと繰り返すに従って、確実に、より適切な距離の位置に収束していくことになり、同時に対処方法のレパートリーが増えて、「一手」選択のための経験値も増えることになると思える。

(高石 公資)



イベント紹介・報告

☆5月6日

自習室開放

京都教育サポートセンターはGW休みでしたが試しの試みとして自習専用日を設けてみました。今後こういうこともしてみようかと思えます。

☆5月11日

集い場〇 レクリエーション部ミーティング

6月15日に伏見区のスポッチャに行くことになりました。

☆5月12日

パレット河原町清掃活動日

特定非営利活動法人京都教育サポートセンターが所在するパレット河原町商店街振興組合に所属しています。その月1回の活動として清掃活動を行っています。朝9時半からというものですがよかったら社会活動にご参加くださいね。7月は14日の予定です。参加希望は前日までに申し込みください。

☆5月13日

集い場〇散策部 枚方

枚方パークとその周辺散策をしてきました。やはり遊園地は遊具に乗っているのが一番楽しいですね。たくさん遊んできました。



☆5月16日

集い場〇健康体操教室

毎月1度の体操教室です。軽い運動とストレッチ
ヒーリング棒を用いたマッサージなど
を行っています。
7月は18日の予定です。

☆5月17日

集い場〇活字倶楽部

5月は「既存の題名からストーリーを考えよう」というテーマで創作活動をしました。イタリアの昔話「悪魔のズボン」というタイトルと主人公の名前を手掛かりに、各自ストーリーを展開していきました。どんな魔力を持ったズボンにするかが今回の鍵だったと思います。みなさんはどんなズボンを想像しますか？



☆5月19日
集い場〇ものづくりかふえ

今回はひとが集まらず来ていた人でめいめいしたい作成活動を行いました。

☆5月20日
集い場〇散策部ミーティング

次回は6月24日土曜日に祇園界隈を散策し、祇園花月に吉本を見ようということになりました。

7月8日土曜日にその次の実施ミーティングを行います。

☆5月24日
集い場〇学食 Walk

京都府立大学の学食へ行ってきました。クラブ案内を見かけたところ、定番の部からリコーダー部など特色ある部活もあり、大学によって面白いですね。学食でも珍しいメニューがあり、私はトンカツ茶漬けという物をいただきました。ガツンとしたトンカツとあっさりとしたお茶漬けを合わせるという、なかなか斬新なメニューでしたが、すごくおいしかったです。



☆ Jiin Join in 智積院

イベントではないのですが利用生の方の絵の作品が展示されていることもあって4月24日に個人的にでしたが智積院に行ってきました。こうして展示されているのを見るのはとてもうれしい感じがします。作品はさすがに撮影できないので写真はいい天気の様子です。



お知らせ

☆ 機関紙の購読または設置していただける方を募集しています

・当所の活動報告を行う機関紙「KSCE 通信」や案内三折パンフレット・各種活動チラシ・同居団体個別指導学習塾「個別教育予備校 MES」の三折パンフレットなどをおいていただける方・場所の情報を教えていただける方などを募集しています。

・個人で機関紙を購読という形でご支援いただける方募集しております。機関紙購読は送料込みで年3600円でご支援をお願いしております。メール添付による個人の方は2400円・関連団体や連携団体の方は原則無料で送付させていただきます。

・機関紙に広告を掲載させていただくことでの広告料という形式でのご支援も募集しております。

・機関紙は紙面による配布とPDF形式によるメール添付形式で行っております。

☆ 賛助会員・寄付会員を募っています

賛助会員は12000円/年

寄付会員は金額は任意です。どちらの会員も機関紙による活動報告をさせていただきます、会員の種類・金額により、ものづくりかふえ活動での手作り品のお礼をさせていただきます。寄付会員の方は、良ければ機関紙に寄付の方のお名前を掲載させていただけると幸いです。

☆ 物品寄贈も随時募っています

衣類・雑貨・書籍など市役所前フリマに出店して販売できるものを随時募集しています。ゴミの減量目的のリユース活動として、フリマの収益は当所の運営に充当させていただきます。NPOの苦しい会計の手助けをしていただくと幸いです。また当所の学修サポート・フリースペース提供・フリースクール活動で使用できる教材・赤本・高校卒業程度認定試験対策問題集・教科書・教科書ガイド・問題集・マンガ・小説・知育玩具・パズル・ボードゲーム・カードゲーム・スポーツグッズ・収納関係（要事前相談）・OA機器・OAサプライ等を随時募集しています。宅急便（費用はお願いしています）・持ち込みなどをお願いしております。徒歩圏内は台車でのお伺いも可能です。賛同していただける方は電話・メールでお申し出ください。もしよろしければ、通信による活動報告や、通信へのお名前の記載をさせていただきますと幸いです。

中京区 匿名様、左京区 匿名様、東京都 匿名様より寄贈いただきました。ありがとうございました。

（お名前掲載の許可をいただけた場合には氏名で掲載させていただきます）

○ 京都教育サポートセンターの活動をご支援ください

ボランティア募集・物品寄贈・賛助会員・寄付会員・などのお問い合わせはお気軽にお申し出ください。電話（075-211-0750）は火曜日～土曜日の11時から18時（時間外も代表在中時は対応いたします）メールは24時間受付 soudan@ksce.jp まで。

集い場○

集い場○（サークル）は活動内容が決まっている中でその内容に対して参加者が集って交流をしたりしていくものです。

活字倶楽部	次回7月12日水曜日	15時半～17時
健康体操教室	次回7月18日火曜日	14時半～15時半
学食 Walk	次回7月中に実施予定	6月9日ミーティングで決定 7月28日金曜日 ミーティング 15時～16時
散策部	次回7月8日土曜日	ミーティング 15時～16時
レクリエーション部	次回7月6日木曜日	ミーティング 15時～16時 7月20日木曜日
ものづくりかふえ	次回7月21日金曜日	15時～16時半

※アポロ活動・集い場○活動への参加には原則として
事前申し込みが必要です。（内部生は事務所内活動は連絡なくても可能ですが
変更の場合もあるので軽くスタッフに伝えるだけでもありがたいです）
また利用生でない方の参加申込は初回に連絡先・名前・年齢が必要です。
2回目には事前アンケートの記入をお願いいたします。

※集い場○やアポロ活動実施日の居場所利用について
前納制のフリースペース利用内部生以外については下記の通りとします。
◎事務所内活動で16時半までに終了するもの
集い場○やアポロ活動日の居場所利用を17時までとします。
17時以降（当所は原則18時までです）の利用は200円必要になります。
◎午前中実施のものは最大13時までとします。13時以降利用は1000円と
します。
◎他の出かけるイベントや17時を過ぎるイベント・集い場○活動に関しては
終了1時間後までとします。

アポロ活動

実施内容の詳細は毎月第1日曜日実施のスタッフミーティングによって翌月のスケ
ジュールを確定させます。飲食中心の交流活動（クリスマス会・忘年会など）・他団
体イベントへの参加（過去の実績：勇気の出るライブ参加・フリースクール野球大
会参加）社会活動（商店街清掃活動・バザー活動）行事への参加（祇園祭・時代祭・
京の七夕・十日戎他）がこの活動にあたります。実施期間の項目で記述した活動内
容は毎年行っているものを記載しました。

編集後記

7月は祇園祭です。今年は宵山、巡行が連休と重なることもあって
人出が多くなりそうですが、KSCEは今年も宵山行きたいと思います。
人出、山鉦の荘厳さ、出店などいろいろ楽しみましょう。（南山 勝宣）

2017年 7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6 集い場〇レクリエーション部ミーティング	7	8 集い場〇散策部ミーティング
9	10	11	12 集い場〇活字倶楽部	13	14 パレット清掃	15 祇園祭用前祭意山
16	17 海の日 祇園祭前祭山鉾巡行	18 集い場〇健康体操教室	19	20 集い場〇レクリエーション部 A	21 集い場〇ものづくりかふえ	22 祇園祭後祭宵山
23/30	24/31 祇園祭後祭山鉾巡行	25	26	27 かき氷食べに行こう	28 集い場〇学食 Walk ミーティング	29

7月

(6月8日
時点の予定)

アポロ活動

14日(金)パレット河原町清掃活動日
15日(土)祇園祭前祭宵山18時出発
参加費内部・アポロ無料その他100円
17日(月)祇園祭前祭山鉾巡行9時半
～15時 参加費 特別居場所利用として
内部300円 その他500円
(15時以降は塾部門運営日のため原則利用
できません)
22日(土)祇園祭後祭宵山18時出発
参加費内部・アポロ無料その他100円
24日(月)祇園祭後祭山鉾巡行9時半
～14時 参加費 特別居場所利用として
内部300円 その他500円
(14時以降は塾部門運営日のため原則利用
できません)
27日(木)かき氷食べに行こう 13
時集合・出発 詳細は告知(ブログ・フェイス
ブックページ・事務所内掲示・代表
SNSなどで告知いたします)参加費無料

集い場〇活動

6日(木)集い場〇レクリエーション部
ミーティング15時～16時参加費無料
8日(土)集い場〇散策部ミーティング
15時～16時 参加費無料
12日(水)集い場〇活字倶楽部
15時半～17時
参加費 内部生無料 その他200円
18日(火)集い場〇健康体操教室

14時半～15時半 参加費無料

20日(木)集い場〇レクリエーション部 A カルム・
麻雀・カードゲーム・ボードゲームなどで遊びましょう。
21日(金)集い場〇ものづくりかふえ 15時～16
時半参加費無料 作成物は希望者のみ各自買取
28日(金)集い場〇学食 Walk ミーティング 15時
～16時参加費無料
7月中未定 集い場〇学食 walk 実施日 6月9日ミー
ティングで決定します。

8月2日(水) 3日(木)
平成29年度第1回高等学校卒業程度認定試験試験日

※スケジュールは変更になったり追加されることがあり
ます。その場合は事務所掲示・フェイスブックページ・
ブログ・代表 SNSなどで告知いたします。

フェイスブックページ

<https://ja-jp.facebook.com/ksce.apollo>

Twitter ID 「ksceleader」

ブログ http://ksce.jpn.org/?page_id=1234

※集い場〇と書いているものは集い場〇事業
表記のないものはアポロ事業として実施しています。
集い場〇・アポロ事業ともに平成29年度
京都市による NPO 等民間団体の子ども若者支援促進事業
の助成を受けて実施しています。

8月11日(金)～17日(木) お盆休業日
毎週日曜・月曜 お休み

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jpn.org、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中
京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2017年 6月 8日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター